

各 位

令和7年度稲作情報 第7号について

このことについて、送付しますので業務及び水稻栽培の参考にしてください。

令和7年度 稲作情報 第7号

唐津農林事務所 東松浦農業振興センター長

1 気象概況(観測点:唐津アメダスデータ)

※表記方法:6 半旬別(1ヶ月を6 分割。1 半旬は1～5 日となります。)

気温:平均 降水量・日照時間:合計

※平年値:平成22年～令和2年(11か年)の平均値

月	半旬	平均気温 (℃)		最高気温 (℃)		最低気温 (℃)		降水量 (mm)		日照時間 (h)	
		平年	R7	平年	R7	平年	R7	平年	R7	平年	R7
5	5	19.9	18.2	24.8	21.5	15.7	16.2	17.8	133.0	34.0	8.0
	6	20.4	17.7	25.0	22.9	16.5	13.6	18.5	0.0	37.1	41.4
6	1	20.9	20.0	25.2	25.5	17.3	15.4	18.2	19.0	27.3	41.2
	2	21.4	21.5	25.4	25.6	18.2	18.4	27.2	104.5	24.5	7.1
	3	21.9	22.8	25.7	25.8	19.0	20.2	40.5	64.5	22.3	1.3
	4	22.4	26.3	26.1	31.7	19.6	21.6	54.5	4.5	20.6	41.4

6 月 4 半旬の平均気温は平年より 4℃程度高く推移した。降雨のない日が続き、降水量は平年の1割未滿と非常に少なく、日照時間は平年の 2 倍と長かった。

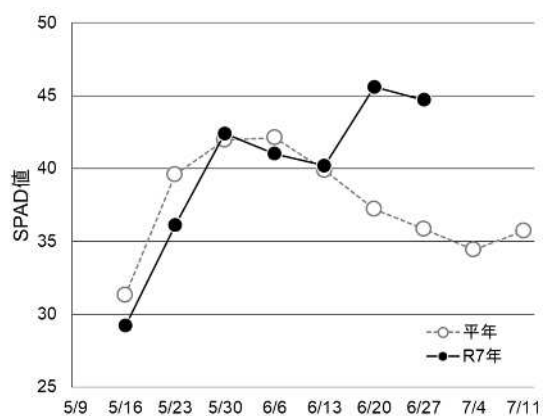
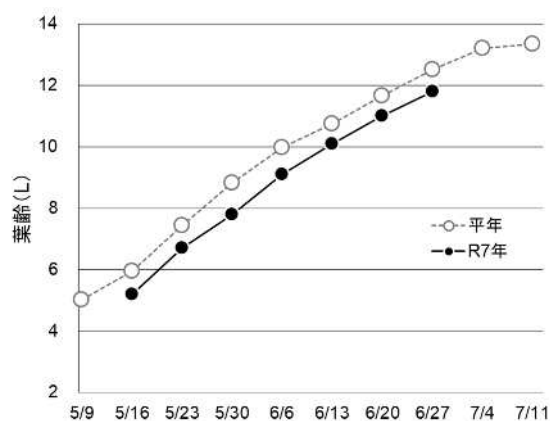
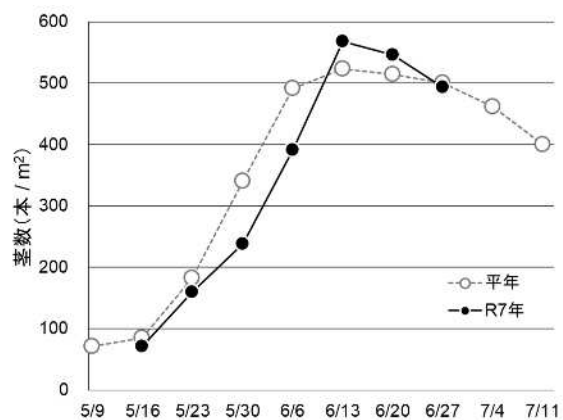
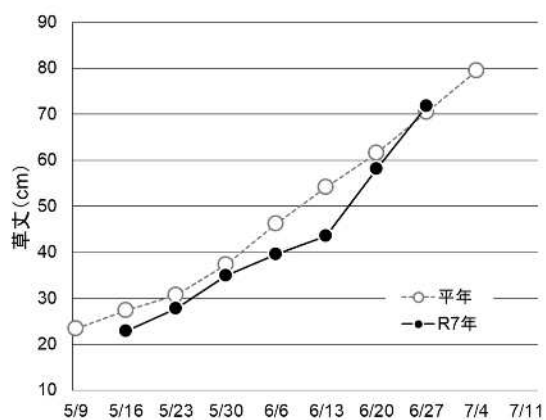
2 生育状況

上場コシヒカリ情報田調査結果 鎮西町潟 4 月 25 日移植 17.8 株/m²(59 株/坪)

(6月23日調査結果)

項目	本年	前年	平年	前年比・差	平年比・差	備考
草丈(cm)	71.8	67.2	70.5	107	102	平年並
茎数(本/m ²)	494	426	501	116	99	平年並
葉齡(L)	11.8	11.9	12.5	-0.1	-0.7	遅い
葉色(SPAD)	44.7	39.1	35.9	5.6	8.8	濃い
葉色(葉色板)	3.3	2.8	3.0	0.5	0.3	やや濃い

※平年値:平成30年～令和6年までの値から最高・最低値を除いた平均値



気温の上昇と日照時間の確保により、草丈は平年並みとなった。葉齢は依然として遅れがみられるものの、茎数は平年並みで推移している。葉色 (SPAD) は平年よりかなり濃い、葉色 (葉色版) でみるとやや濃い程度。

6月23日時点の幼穂長は平均 3mm (最高: 5mm、最低: 2mm) で、まもなく穂肥施用時期となる。出穂期は平年より2日遅い7月13日頃となる見込み。

3 今後の管理について

(1) 水管理

- ・4月～5月上旬に移植された多くの圃場で幼穂形成期を迎えています。幼穂形成期～穂ばらみ期は水を必要とするため、白乾状態とならないように注意しながら間断灌水を行いましょう。中干しが十分でない圃場では、落水期間を長くして地面を固めてください。
- ・5月中旬以降に移植された圃場では中干し時期になっています。降雨が連続する場合は、水尻を開けて落水管理としてください。まもなく幼穂形成始期を迎えますので幼穂の形成が確認されたら間断灌水に移行しましょう。

(2) 病虫害防除

- ・畦畔雑草は斑点米カメムシの増殖・飛来源となります。例年斑点米カメムシによる被害が見られる圃場では、出穂10日前まで(止葉が完全に抽出する前まで)に除草を行いましょう。出穂直前以降に除草を行うと、畦畔に生息する斑点米カメムシが圃場内に移動し被害が助長されます。出穂10日前までに除草作業ができなかった場合は黄熟期まで見送るようにしてください。
- ・イネクロカメムシが見られる圃場ではスタークル粒剤を散布してください。
- ・曇雨天が続き、いもち病が発生しやすくなっています。常襲田では田回りを行い発生に注意してください。いもち病が発生した場合、出穂10日前(収穫45日前)までにオリブライト豆つぶを散布してください。



イネクロカメムシ

(3) 施肥管理

○コシヒカリ

- ・下位節間(第4節間)の伸長は出穂23日前頃から始まり、18日前頃に最盛期となります。この時期に穂肥を施用すると節間伸長が助長され倒伏のおそれがあります。「コシヒカリ」のような倒伏に弱い品種は、この時期を経過した出穂16～18日前が穂肥施用時期です。

(参考:情報田平年値)

移植期:4月23日 出穂期:7月11日 穂肥施用時期:6月23～25日

※圃場毎に生育ステージ・葉色・生育量が異なるため、下記穂肥診断基準を目安に穂肥施用時期と施用量を決定してください。なお、葉色が濃い場合は、窒素過多による倒伏が懸念されるため、施用量を減らしてください。

コシヒカリの出穂前日数と幼穂長の関係

出穂前日数	26	23	20	18	15	12
幼穂形成始期からの日数	0	0～3	3～6	6～8	8～11	11～14
幼穂長 (mm)	1	1～3	8～12	15～20	25～30	30～
草丈 (cm)	～72	～75	～78	～80	～83	83～
穂肥施用時期	←→					

※幼穂長15～20mmの時(出穂18日前頃)が穂肥施用時期。

穂肥診断をした時の幼穂長が1mmの場合、その5日後に穂肥を施用する。

コシヒカリ穂肥診断基準（穂肥施用時）

葉色	葉色板		SPAD	幼穂長 (mm)	出穂前 日数	施用量 有機入りBB454
	群落	単葉				
淡い	～3.0	～3.5	～34.0	2	24～25	15kg/10a
	3.0～3.3	3.5～3.8	34.0～36.0	5	22	
標準	3.3～3.7	3.8～4.2	36.0～39.5	15	18	7～10kg/10a
濃い	3.7～	4.2～	39.5～	15～	～18	施用しない

※穂肥施用時期の葉色（SPAD）が36.0～39.5、草丈が80cm以下であれば、有機入りBB454を10kg/10a施用する。

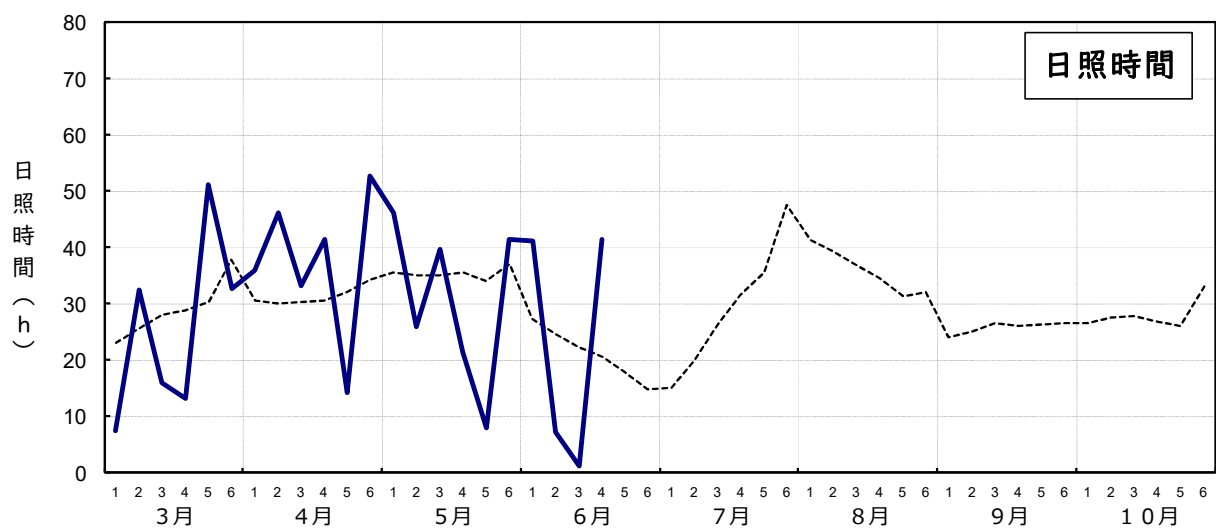
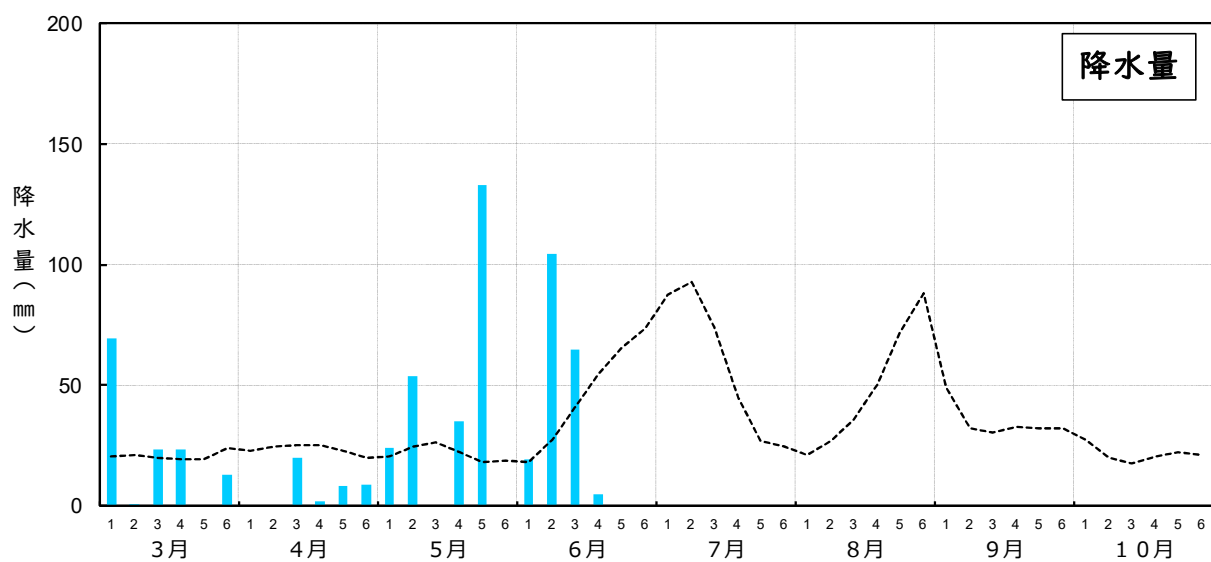
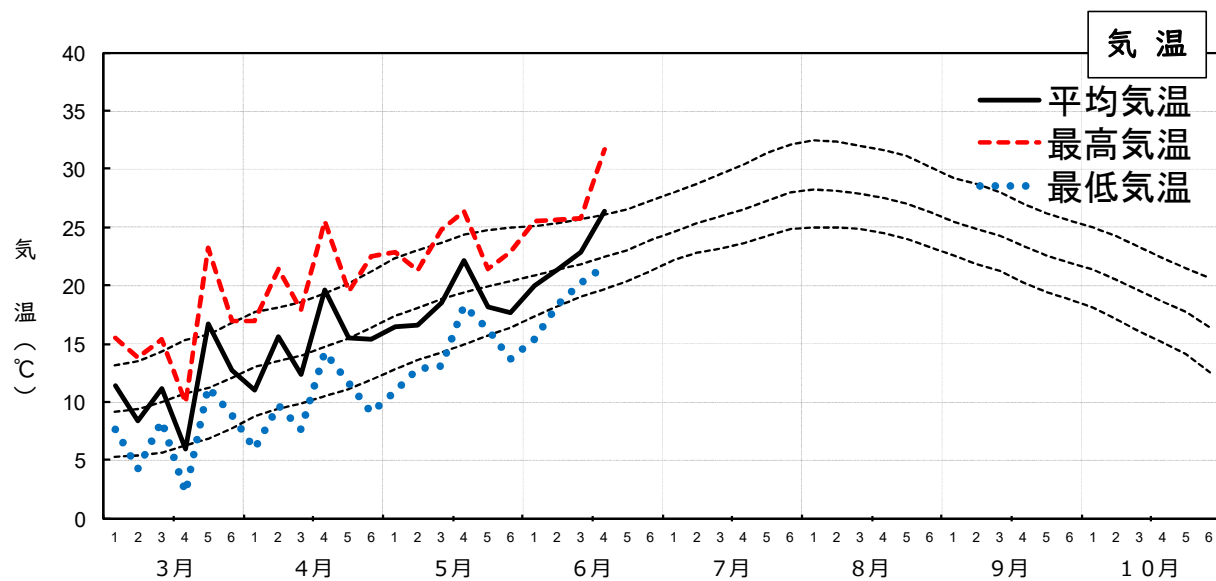
○つや姫

- ・「つや姫」は佐賀県特別栽培農産物の登録を受けるために、化学肥料由来窒素量の上限値（3.5 kg/10a）を守る必要があります。そのため、「つや姫」の穂肥にはなたねペレットを使用してください。なたねペレットは化学肥料と比べて窒素の肥効発現に時間がかかるため、早めに施用します。7月に入ると施用時期になりますので準備をお願いします。

（参考：令和2年度結果）

移植期：5月16日 出穂期：7月29日

令和7年産 水稻作付期間気象図 アメダス観測値(唐津)



注) 平年値: 平成 22 年～令和 2 年の平均値